



**土砂災害ハザードマップの目的は？**  
 土砂災害ハザードマップは、梅雨期の集中豪雨や台風に伴う豪雨などにより、土砂災害が発生した場合に被害を受けるおそれのある区域を土砂災害警戒区域として示すものです。また、土砂災害が予想される場合や発生した場合に、市民の皆さんが避難などの適切な行動を取っていただくために作成したものです。  
 ハザードマップには、避難場所の位置や大雨に対する備えなどについてまとめていますので、日ごろからご家族や地域の方と話し合ってください、土砂災害による被害の軽減にお役立てください。

「土砂災害警戒情報」が出てからの避難では、避難路が浸水している場合があります。  
 「土砂災害特別警戒区域」に住んでいる方や「災害時要配慮者」の皆さんは、「避難準備情報」が発表された段階で、車両等を使って、早めに「旧塩江小学校校舎3階」に避難してください。  
 避難指示が出て逃げ遅れた場合は、近くの一時的避難場所等に避難してください。

「土砂災害警戒情報」が出てからの避難では、避難路が浸水している場合があります。  
 「土砂災害特別警戒区域」に住んでいる方や「災害時要配慮者」の皆さんは、「避難準備情報」が発表された段階で、車両等を使って、早めに「塩江小中学校」に避難してください。  
 避難指示が出て逃げ遅れた場合は、近くの一時的避難場所等に避難してください。

**凡例**

避難方向	主な避難方向
土砂災害警戒区域等	土砂災害警戒区域(急傾斜地)
	土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)
	土砂災害警戒区域(土石流)
	土砂災害特別警戒区域(土石流)
	土砂災害警戒区域(地すべり)
住民が土砂災害の危険性を感じる範囲	地域住民が豪雨時に危険性を感じる範囲
避難場所等	指定避難所
	一時避難場所(土砂災害)
	土砂災害警戒区域等内にある災害時要配慮者施設等
指定避難所として使用できる災害の種類	崖崩れ・土石流・地すべり
	洪水・内水氾濫
	高潮
既往浸水・災害実績	内水等による浸水範囲(浸水実績調査及びアンケートによる)
	土砂災害等による土砂流出範囲(既往ハザードマップ及びアンケートによる)
主な避難路・緊急輸送道路	国道
	県道・市道

**豪雨時の高松市指定緊急避難場所避難適性**

避難場所	電話番号	所在地	風水害	土砂災害
塩江小・中学校	893-0032	塩江町安原上 231	△	△
塩江小学校跡施設	-	塩江町安原上東 365	△	△
樺川集会所	-	塩江町安原上東字樺川 2173-8	○	○

**地域の危険箇所と注意事項**

1 避難時危険箇所(水害・土砂災害時)

潜水橋

2 避難時危険箇所(水害・土砂災害時)

たびたび浸水

3 避難時危険箇所(水害・土砂災害時)

増水注意

1 大向橋

増水に注意

2

出水に注意

3

土砂流出注意

4

避難時には、河川の状況確認

① 普段から避難袋などを準備しておき、豪雨時には、早めに避難しましょう。

**指定避難所・一時避難場所**

	避難所	塩江小・中学校
	避難所	塩江小学校跡施設
	避難所	樺川集会所
	避難所	塩江支所塩江連絡事務所
	一時避難場所(土砂災害)	中下所多目的研修施設
	一時避難場所(土砂災害)	魚虎旅館(2階)
	一時避難場所(土砂災害)	魚虎はなれ
	一時避難場所(土砂災害)	樺川荘本館(2階以上)
	一時避難場所(土砂災害)	川田宅
	一時避難場所(土砂災害)	赤松宅
	一時避難場所(土砂災害)	さめき温泉(3階以上)

② いざという時、どこに避難するか事前にチェックしておきましょう。

**土砂災害の種類と特徴**

**急傾斜地の崩壊**

●傾斜度が30度以上で高さ5m以上の区域  
●急傾斜地の上部から水平距離が10m以内の区域  
●急傾斜地の下部から急傾斜地の高さの2倍(50mを超える場合は50m)以内の区域

**土石流**

●土石流の発生のおそれのある浸流にあって、前降部から下流で可能が2倍以上の区域

**地すべり**

●地すべり区域(地すべりしている区域または地すべりするおそれのある区域)  
●地すべり区域下部から、地すべり地域の長さに対応する距離(250mを超える場合は、250m)の範囲内の区域

**前兆現象を知り、危険から身を守ろう！**  
 土砂災害の特徴と前兆現象

**崖崩れ**  
雨や地震などの影響によって斜面が突然崩れ落ちる現象です。  
●小石がバラバラと落ちてくる  
●かけがら水が湧き出ている  
●かけがらひび割れができる

**土石流**  
石や土砂が、集中豪雨などによって水と一緒に流れ、下流へ一気に流れ出す現象です。  
●山鳴りがする  
●川の音が濁り流木が混ざる  
●雨が降り続いているのに川の水位が下がる

**地すべり**  
大雨などでゆるくなった斜面が、ゆっくりに斜面下方へ動き出す現象です。  
●地面にひび割れや段差ができる  
●地鳴りがする  
●沢や井戸の水が濁る  
●斜面から水がふき出す

**こんなときはどうすればいいの？**

土砂災害警戒情報に注意しながら、崖崩れの前兆現象や雨の状況を確認して、避難の準備や避難をしましょう。

気象情報	土砂災害による避難情報の発令の判断基準	避難情報	皆さんの行動
<p><b>大雨注意情報</b> 大雨による土砂災害のおそれがあるとき、発表されます。</p> <p><b>大雨警報</b> 大雨による土砂災害が起きているおそれがあるとき、発表されます。</p> <p><b>土砂災害警戒情報</b> 大雨による土砂災害発生のおそれがあるとき、発表されます。</p> <p><b>土砂災害特別警戒情報</b> 数十年に一度の大雨等が予想される場合に、発表されます。</p>	<p><b>避難準備(高齢者等避難開始)</b> ●大雨警報が発表されたときの時点で翌朝までの大雨が想定される場合。 ●夜間に土砂災害警戒情報が発表される可能性がある場合</p> <p><b>避難勧告(緊急)</b> ●近隣で土砂災害が発生 ●近隣で土砂移動現象、前兆現象(山鳴り、流木の流出、斜面の亀裂等)を発見した場合</p>	<p><b>避難準備(高齢者等避難開始)</b> 災害による人的被害の発生する可能性が高まった状況</p> <p><b>避難勧告(緊急)</b> 災害による人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況</p>	<p>お年寄り、子ども、障がいのある人、病気の人は、避難を開始してください。</p> <p>避難所などへ避難を開始してください。屋外への避難が困難な場合は、建物の2階以上(斜面と反対側の部屋)に緊急的に避難しましょう。</p> <p>避難所などへ直ちに避難してください。屋外への避難が困難な場合は、建物の2階以上(斜面と反対側の部屋)に緊急的に避難しましょう。</p>

**警戒区域における避難の呼びかけ**  
 高松市は、次の流れ図に従い、関係住民に呼びかけを行います。

**気象情報が発表されたとき**

- 今後、雨が降る見込みがない、あるいは、雨がやむ見込み。 → 避難の呼びかけは行わない。
- 今後、小雨がじわじわと降り続く見込み。 → 土砂災害警戒区域全域について状況把握(巡視)を続け、危険性が高い地域は、避難の呼びかけを行う。
- 今後見込まれる雨量や雨の強さから、避難を呼びかける必要がある。 → 警戒区域内の住民に避難の呼びかけを行う。

**避難情報の伝達方法**

香川県 高松市 高松地方気象台

市民のみなさん

- 消防署・消防団
- 広報車
- 防災行政無線(屋外スピーカー・防災ラジオ)
- テレビ(CATVを含む)・ラジオ・インターネット・防災情報メール等

**情報収集法**

気象情報

高松地方気象台  
<http://www.jma-net.go.jp/takamatsu/>

雨量、河川の水位、土砂災害警戒情報・防災情報メール登録等  
 かがわ防災Webポータル  
<http://www.bousai-kagawa.jp/>

気象情報、雨量、河川の水位、土砂災害警戒情報等については、以下のウェブサイトやパソコン等から確認することができます。また、防災情報メールに登録することにより携帯メールで気象情報や避難情報等を受け取ることができます。その他、市防災ラジオを購入するなど積極的な情報収集に努めましょう。